

商工会議所LOBO（早期景気観測）

-2020年5月調査結果-

調査概要

- 調査期間 2020年5月13日～5月30日
- 調査対象 200社
- 回答企業 127社
- 回収率 63.5%

※DI値（景気判断指数）について

DI値は、売上・採算・業況などの各項目についての判断の状況を表す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

なお、従業員の項目については、DI値ゼロを基準として、プラス値は人員不足感を表し、マイナス値は人員過剰感を表している。

DI値 = (増加・好転などの企業割合) - (減少・悪化などの企業割合)

業況・採算：(好転) - (悪化) / 売上：(増加) - (減少) / 仕入単価：(下落) - (上昇)

販売単価：(上昇) - (下落) / 従業員：(不足) - (過剰)

旭川市概況

※全産業の5月の状況を見ると業況DIは、前月より9.2ポイント悪化の▲59.9となった。

2017年9月以来33ヶ月連続でマイナス水準を推移している。

※向こう3か月の全産業における、先行き見通し業況DIは▲65.3、当月と比べ5.4ポイントの悪化が見込まれる。

旭川市全産業 DI 値（前年同月比）の推移

	2019年 12月	2020年 1月	2月	3月	4月	5月	先行き見通し 2020年 6月～8月
業況	▲16.5	▲26.0	▲29.6	▲47.6	▲50.7	▲59.9	▲65.3
売上	▲22.3	▲20.4	▲28.7	▲50.0	▲53.7	▲55.9	▲66.2
採算	▲19.0	▲20.4	▲28.7	▲43.6	▲47.0	▲60.7	▲60.7
仕入単価	▲35.5	▲34.2	▲25.2	▲12.0	▲18.6	▲11.9	▲21.3
販売単価	5.8	4.9	▲4.3	▲12.1	▲14.2	▲16.5	▲18.1
従業員	31.4	30.9	28.7	19.3	13.5	15.0	12.6
資金繰り	▲6.6	▲6.5	▲10.5	▲21.8	▲29.8	▲37.1	▲44.9

旭川市産業別業況DI値（前年同月比）の推移

	2019年 12月	2020年 1月	2月	3月	4月	5月	先行き見通し 2020年 6～8月
建設	▲17.2	▲13.8	▲28.6	▲28.6	▲10.3	▲32.2	▲50.0
製造	▲7.1	▲31.1	▲17.9	▲34.5	▲39.3	▲58.6	▲62.1
卸売	▲12.0	▲18.5	▲25.0	▲42.3	▲53.1	▲46.5	▲53.6
小売	▲21.0	▲36.8	▲31.6	▲71.4	▲77.3	▲85.0	▲75.0
サービス	▲30.0	▲36.8	▲56.3	▲75.0	▲87.0	▲90.9	▲95.5

今月のトピックス（業界の声・経営上の問題点）

建設業	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大の影響については、感染予防に努めている。公共・民間工事受注に影響はないものの、現場での感染の場合、工事停止などの状況を考え注意を促している。夏のボーナスは前年並みと考えている。（総合工事） ・コロナウイルス感染拡大の影響に伴う民間工事受注減及び公共工事の来年度予算縮小が予想され、売上減少の懸念有り。（設備・その他） ・新型コロナウイルスの影響から新築計画の延期等の工事契約が長期化しつつある。流通の遅れが長引くことにより、工事工程の変更等の影響が出ている。（建築）
製造業	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大と自粛により、取引先からの発注減が大きく影響している。今後自粛が解除されても発注を含め見通しが立たない。（食料品） ・小売業の新聞折込みチラシが新型コロナウイルスの影響で各社が自粛したことにより、業務が大幅に減少。需要の縮小に拍車をかける事態となった。（印刷・出版） ・ここ数ヶ月の予定は昨年からの受注（リピート含）で充分確保できている。今後はデザイン経営の推進等経営改革のチャンスととらえ、新規高卒者の獲得の諸準備を進めている。（金属窯業他）
卸売業	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの感染拡大によりあらゆる催事が中止になり売上が激減し、4月は前年比で43%の売上に止まり先行きの見通しがつかない。（食料品） ・前年度の実績がよかったため、比較すると売上の減少が予想されるが業況は悪くない。今のところコロナウイルス感染拡大の影響はさほど大きく出てはいないが今後はわからない。（機械鋼材） ・コロナウイルス感染防止対策が緩和の方向に向かっており、石油製品全般において需要増が見込まれることから今後は仕入値が上昇し、それに伴い販売単価も上昇するものと思われる。（その他）
小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ感染拡大で特に空港、J R キオスクでの物販が大幅に売上減少。業況悪化。（食料品） ・新型コロナウイルス感染拡大の影響により外出自粛要請もあり、ゴールデンウィークは臨時休業も重なり売上がまったくなく前年比の50%以上の売上ダウン。今後の見通しがまったく見えず運転資金も大変。（衣服見回品） ・観光客が激減し、店舗への来店客がほぼ0となり売上は激減。助成金の活用などを検討している。（その他） ・ゴールデンウィークの入出が少なく燃料油販売量が30%以上減少。ソーシャルディスタンスの徹底に伴って対面販売での接客オペレーションの変更を余儀なくされる。（その他）
サービス業	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客の減少によりホテルの宿泊者8～9割減少。5月中旬でも休んでいる観光地（宿泊施設）が多い。営業面は非常に厳しく社員の半分以上に休んでもらっている。6月・7月もこの様な状況が続くことにより北海道の観光業は立ち戻れない。（理美容・クリーニング） ・新型コロナウイルスの影響で稼働減と休業要請により各部門の営業時間の短縮、休業となり売上が大幅に減少。今年は今後も見込めないため先行きも減少傾向。（ホテル・旅館） ・コロナウイルスの影響で通常営業が出来なかった。現金収入がなく大変厳しい状況が続いている。（飲食） ・コロナ禍による経済全体の疲弊感が大きく終息後の立ち上がりも厳しい状況が想定される。当座の資金繰りのための借入増大はやむを得ないことではあるが、復調へ向けての大きな手かせ足かせになることが大きな問題。（運送）

旭川市の産業別概況

産業	概況
建設業	<p>売上 DI11.0 ポイント悪化、採算 DI11.5 ポイント悪化、仕入単価 DI5.0 ポイント悪化、販売単価 DI6.9 ポイント改善、資金 DI3.8 ポイント悪化、従業員 DI1.5 ポイント増加し不足感が強まった。総じて業況 DI は 21.9 ポイント悪化となった。業種別では、総合工事 29 ポイント、設備・その他 2 ポイント、建築業 30 ポイント悪化となった。下請業者も含めて人手不足のため工事受注ができない状況。今時点の新型コロナウイルス感染症の影響はほぼないとの声も寄せられている。</p>
製造業	<p>売上 DI19.1 ポイント悪化、採算 DI36.8 ポイント悪化、仕入単価 DI21.5 ポイント改善、販売単価 DI10.5 ポイント悪化、資金 DI9.8 ポイント悪化、従業員 DI3.5 ポイント増加し不足感が強まった。総じて業況 DI は 19.3 ポイント悪化となった。業種別では、金属窯業他 2 ポイント改善、印刷・出版横ばい、食料品 23 ポイント、家具・木材 53 ポイント悪化となった。現段階では新型コロナウイルスの影響はそれほど見られないが社員への感染が心配。このパンデミックを機に我々製造業のスタイルも改革していかなければいけないと危機感を抱いている。長引けば公共事業への影響がどのようにあるのか懸念もあるとの声も寄せられている。</p>
卸売業	<p>売上 DI23.6 ポイント改善、採算 DI3.2 ポイント改善、仕入単価 DI8.4 ポイント改善、販売単価 DI2.1 ポイント悪化、資金 DI3.1 ポイント改善、従業員 DI4.5 ポイント増加し不足感が強まった。総じて業況 DI は 6.6 ポイント改善となったが、「悪化」から「不変」への変化が主因であり、実態はほぼ横ばい。業種別では、機械鋼材 23 ポイント悪化、繊維・衣服等 20 ポイント、食料品 10 ポイント、その他 21 ポイント改善となった。新型コロナウイルス感染拡大の影響で衛生用品（不織布マスク等）の特需が起り売上・利益が上昇したが、企業の活動自粛などの影響で作業用品の消耗も少なからずあり、特需以外の販売状況は芳しくない。新型コロナの世界的な感染拡大に伴い不織布等の原価も上がっており製品供給も不安定、この先の売上に大きく影響を与えることは間違いないとの声も寄せられている。</p>
小売業	<p>売上 DI6.4 ポイント改善、採算 DI6.3 ポイント悪化、仕入単価 DI4.1 ポイント悪化、販売単価 DI6.8 ポイント改善、資金 DI23.6 ポイント悪化、従業員 DI8.2 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 7.7 ポイント悪化となった。業種別では、食料品横ばい、衣料品 17 ポイント、その他 12 ポイント、自動車 8 ポイント悪化となった。売上減は受け入れざるを得ないが、この状況がいつまでなのか対応しかな不安だけが大きくなるとの声も寄せられている。</p>
サービス業	<p>売上 DI12.6 ポイント悪化、採算 DI16.9 ポイント悪化、仕入単価 DI12.9 ポイント改善、販売単価 DI14.9 ポイント悪化、資金 DI7.7 ポイント悪化、従業員 DI4.5 ポイント増加し不足感が強まった。総じて業況 DI は 3.9 ポイント悪化となった。業種別では、理美容・クリーニング、ホテル・旅館、その他、飲食、整備業横ばい、運送 25 ポイント悪化となった。新型コロナウイルス対策に伴う緊急事態宣言により人の動きが絶え、路線は対前年（4～5 月）で 40%、都市間 20%台、貸切は全くなく運収全体で 40%台で、この先数ヶ月は多少変化があったとしても体制に変わりはないとの声も寄せられている。</p>